第28巻第43号 ［宮崎県第43週（10/19～10/25） 全国第42週（10/12～10/18）］ 令和8年10月29日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第43週(ARIのみ第42週)の発生動向

□ 全数報告の感染症（43 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 1 例。
3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：日本紅斑熱 3 例。
5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	70歳代	女	－	水様性下痢、血便、嘔吐、発熱、O111(VT1,VT2)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	男	－	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常、その他
		日南	70歳代	男	－	発熱、発疹、肝機能異常
			70歳代	男	－	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、その他
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	50歳代	男	腸管アメーバ症	下痢、粘血便
	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	0～4歳	男	－	発熱、髄膜炎、菌血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 388 人(定点当たり 22.2)で、前週比 106%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナで、減少した主な疾患はＲＳウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎であった。

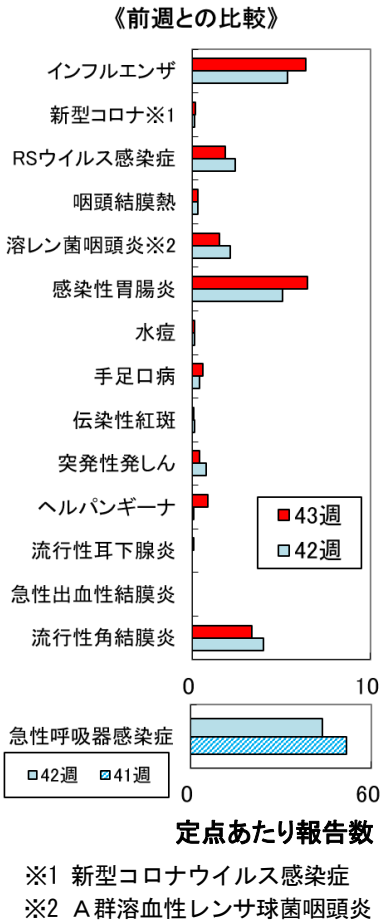
また、第 42 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,222 人(定点当たり 43.6)で、前週比 84%と減少した。

【インフルエンザ】
報告数は 178 人(6.4)で、前週比 119%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.39)の約 16.2 倍であった。年齢群別は 20 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【ＲＳウイルス感染症】
報告数は 28 人(1.9)で、前週比 78%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 1.8 倍であった。年齢群別は 1 歳以下が全体の約半数を占めた。

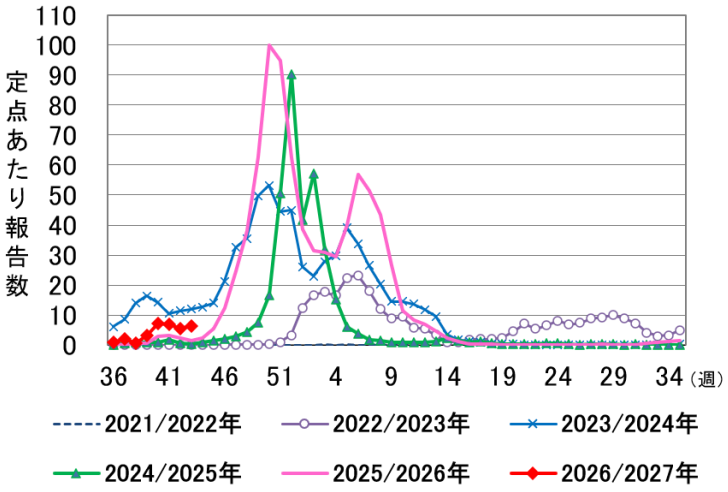
【感染性胃腸炎】
報告数は 97 人(6.5)で、前週比 128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(8.3)の約 0.8 倍であった。年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

＊ 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値



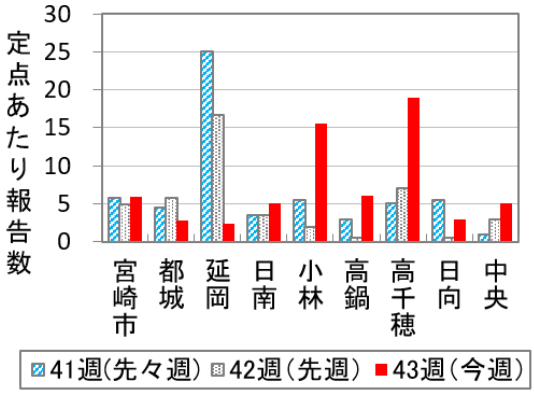
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ　発生状況

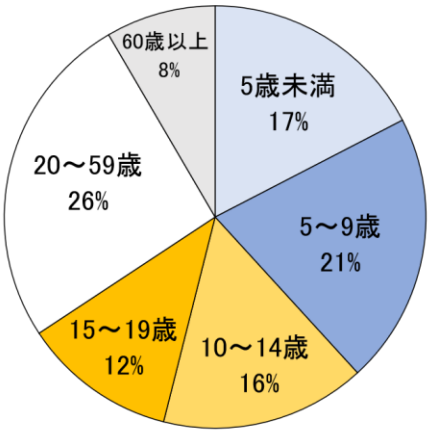


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 58 から 28 に変更

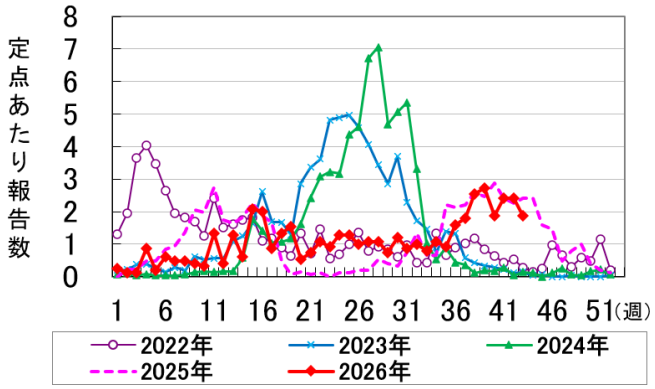
インフルエンザ　保健所別推移(3 週分)



インフルエンザ　年齢群別グラフ(第 43 週)

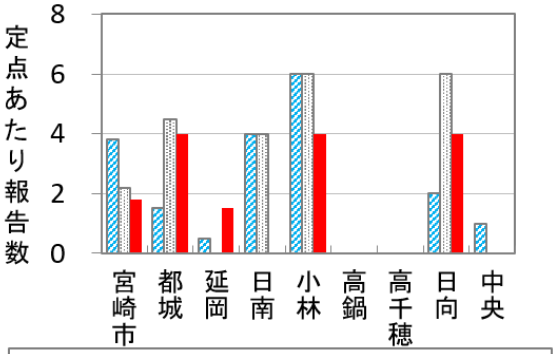


ＲＳウイルス感染症　発生状況

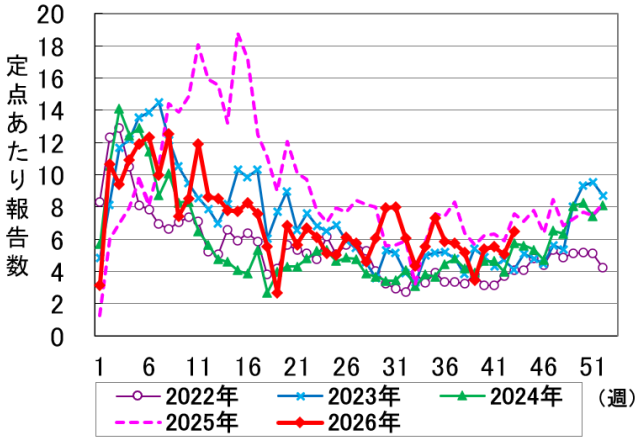


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

ＲＳウイルス感染症　保健所別推移(3 週分)

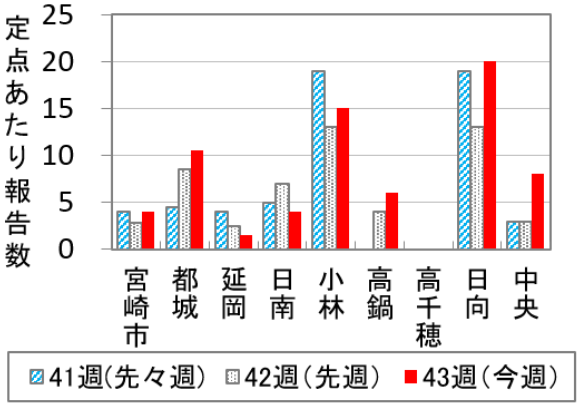


感染性胃腸炎　発生状況



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

感染性胃腸炎　保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★

報告なし

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(15.0)
日南	なし
小林	インフルエンザ(15.5)
高鍋	なし
高千穂	インフルエンザ(19.0)
日向	感染性胃腸炎(20.0)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・感染性胃腸炎(20)

・流行性角結膜炎(8)

＊流行注意報レベル基準値＊

・インフルエンザ(10)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)

（第 42 週:10 月 12 日～10 月 18 日搬入分）

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	2
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			3
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
パルボウイルスB19			1
検出せず※2			9
受付検体数			15

○　急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※１　急性呼吸器感染症(ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※２　左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

（細菌・ウイルスについては 2026 年 10 月 26 日までに検出分）

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同定日
Salmonella Miyazaki (O9:l,z13:1,7)	10歳代	男	2026.09.28	下痢	便	2026.10.09
Salmonella Typhimurium(variant) (O4:i:-)	0～4歳	男	2026.10.01	発熱、下痢	便	2026.10.08
MDRP	70歳代	男	2026.09.30	発熱、肝機能障害	胆汁	2026.10.20

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus A9 Rhinovirus	0～4歳	男	2026.09.07	エコーウイルス発疹症、39.1℃、発疹、食欲低下	咽頭ぬぐい液	2026.10.26
Coxsackievirus A9	0～4歳	女	2026.09.15	エコーウイルス疑い、発疹	咽頭ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	女	2026.09.08	インフルエンザA型、39.6℃、咽頭痛、咳、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2026.10.14
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	男	2026.09.08	インフルエンザA型、38.5℃、関節痛、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.10.14
Influenza virus AH1pdm09※	20歳代	男	2026.09.08	インフルエンザA型、38.7℃、咽頭痛、関節痛	鼻腔ぬぐい液	2026.10.14
Influenza virus AH1pdm09※	50歳代	女	2026.09.29	インフルエンザA型、39.6℃、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	30歳代	女	2026.09.29	急性咽喉頭炎、37.5℃	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	女	2026.09.29	インフルエンザA型、39.0℃、頭痛、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	男	2026.09.29	インフルエンザA型、40.0℃、頭痛、咽頭痛、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	男	2026.10.05	インフルエンザA型、40.0℃、咽頭炎	鼻汁	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	10歳代	男	2026.10.05	インフルエンザA型、39.4℃、咽頭炎、嘔気・嘔吐	鼻汁	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	50歳代	女	2026.10.06	インフルエンザA型、37.7℃、咽頭痛、咳、痰	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	30歳代	男	2026.10.06	インフルエンザA型、39.0℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26
Influenza virus AH1pdm09※	30歳代	女	2026.10.06	インフルエンザA型、38.6℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2026.10.26

※　ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

〇インフルエンザと診断された患者 11 名および急性咽喉頭炎と診断された患者 1 名から Influenza virus A H1pdm09 が分離・検出された。2026/2027 シーズン採取分の当所におけるインフルエンザウイルスの分離・検出の報告は今回が初である。

全国 2026 年第 42 週の発生動向

□　全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	202 例					
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	75 例	腸チフス	1 例	
	パラチフス	1 例					
4類感染症	E型肝炎	11 例	A型肝炎	8 例	エムポックス	3 例	
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例	
	日本紅斑熱	34 例	日本脳炎	1 例	マラリア	1 例	
	レジオネラ症	75 例	レプトスピラ症	3 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	7 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18 例	
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	14 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	28 例	水痘（入院例）	7 例	
	多剤耐性緑膿菌感染症	6 例	梅毒	146 例	播種性クリプトコックス症	2 例	
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4 例	百日咳	47 例	

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 74%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はインフルエンザ、ＲＳウイルス感染症、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 81%と減少した。

インフルエンザの報告数は 33,864 人(9.1)で前週比 71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.33)の約 27.2 倍であった。沖縄県(19.7)、埼玉県(15.4)、北海道(12.3)、長崎県(12.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,666 人(0.74)で前週比 57%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.38)の約 2.0 倍であった。群馬県(2.2)、静岡県(2.0)、徳島県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 6 割を占めた。

＊　新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

宮崎県 感染症情報　（41定点医療機関 ）　2026年 第43週（10月19日～10月25日）

疾病名		第42週	第43週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	150	178	53	11	7	10	31	12	38	6	10
	定点当り	5.36	6.36	5.89	2.75	2.33	5.00	15.50	6.00	19.00	3.00	5.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	3	5	1		2		1				1
	定点当り	0.11	0.18	0.11	0.00	0.67	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	36	28	9	8	3		4			4	
	定点当り	2.40	1.87	1.80	4.00	1.50	0.00	4.00	0.00	0.00	4.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	5	5	2					1		1	1
	定点当り	0.33	0.33	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	32	23	8	7		1	2	1		3	1
	定点当り	2.13	1.53	1.60	3.50	0.00	1.00	2.00	1.00	0.00	3.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	76	97	20	21	3	4	15	6		20	8
	定点当り	5.07	6.47	4.00	10.50	1.50	4.00	15.00	6.00	0.00	20.00	8.00
水　痘	報告数	2	2	2								
	定点当り	0.13	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	6	9	6	1		1					1
	定点当り	0.40	0.60	1.20	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.13	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	6	1		1	1	1			2	
	定点当り	0.80	0.40	0.20	0.00	0.50	1.00	1.00	0.00	0.00	2.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	13	7	5	1						
	定点当り	0.07	0.87	1.40	2.50	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		1		1							
	定点当り	0.00	0.07	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	24	20	5		15						
	定点当り	4.00	3.33	1.67	0.00	15.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第42週（10月12日～10月18日）

		第41週	第42週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1452	1222	287	206	227	67	86	59	58	172	60
	定点当り	51.86	43.64	31.89	51.50	75.67	33.50	43.00	29.50	29.00	86.00	30.00

ARI定点：28、小児科定点：15（ARI定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2026年 第01週～43週 保健所受理分）

2類感染症	結 核	110例(1)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	51例(1)					
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	
	つつが虫病	4例	デング熱	1例	日本紅斑熱	15例(3)	
	レジオネラ症	14例	レプトスピラ症	1例			
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	2例	ｶﾙﾊﾞﾍﾟﾈﾑ耐性腸内細菌目細菌感染症	2例	
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	12例(1)	水痘（入院例）	7例	多剤耐性緑膿菌感染症	4例	
	梅 毒	57例(1)	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	
	百日咳	55例	麻しん	1例			

（　）内は今週届出分、再掲